

安全な国産グリーン社会

コラム S D G S Safety Domestic Green Society

第15回

暮らしの安全・再考(2) エネルギーの安全と利用について

一般社団法人 洗楓座 代表理事 佐藤建吉

【前回掲載より続く】

「はじまり」

エネルギーの安全を確保する視点から再考したい。

▼エネルギー安全保障

前回述べた「食の安全について」に続いて、私たちが生き暮らすために必要な資源&エネルギーについて述べたい。資源&エネルギーは国内での問題ばかりでなく、国境を接する隣国や輸入国、さらには原油などの輸送経路にある国々などの国際問題を生み出したりすることになり、その安全について考えることは重要である。

エネルギーは、その利用の主体者のほか、送り手&受け手の立場においても安全性と確実性が求められる。同時にエネルギーコストが低廉であることも求められる。さらにエネルギーは、資源の利用とも直結している。この原稿を書いているとき自然の景観を写すTV番組のシーンがあった。自然の中に樺木鳥たちは仲間とエサを分け合っている時もある。ある場合には一転して争いを始めることもある。それも自然の営みであるが、これも人間ならざるの、安全保障が必要であるというメッセージを教えられる。

▼エネルギー基本計画

エネルギーは、その利用の主体者のほか、送り手&受け手の立場においても安全性と確実性が求められる。同時にエネルギーコストが低廉であることも求められる。さらにエネルギーは、資源の利用とも直結している。この原稿を書いているとき自然の景観を写すTV番組のシーンがあった。自然の中に樺木鳥たちは仲間とエサを分け合っている時もある。ある場合には一転して争いを始めることもある。それも自然の営みであるが、これも人間ならざるの、安全保障が必要であるというメッセージを教えられる。

▼エネルギー基本計画

エネルギーには、電磁的、熱的、力学的、化学的などいろいろな形態があるが、これらの間で

▼エネルギー基本計画

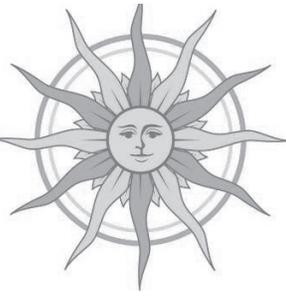
エネルギーには、電磁的、熱的、力学的、化学的などいろいろな形態があるが、これらの間で

▼エネルギー基本計画

エネルギーには、電磁的、熱的、力学的、化学的などいろいろな形態があるが、これらの間で

▼エネルギー基本計画

エネルギーには、電磁的、熱的、力学的、化学的などいろいろな形態があるが、これらの間で



▶太陽神によるエネルギーアート

船などとともに人間

エネルギーには、電磁的、熱的、力学的、化学的などいろいろな形態があるが、これらの間で

エネルギーには、電磁的、熱的、力学的、化学的などいろいろな形態があるが、これらの間で

エネルギーには、電磁的、熱的、力学的、化学的などいろいろな形態があるが、これらの間で

連載

エネルギーという視点 主導するのではなく、自発性をもって歴史的に、つまり「アノニマス」な展開は望ましい。アートは、心情的な共感をつくる。

▼おわりに

別のコラムでは、「エネルギーとアート」という視点のほか「アートと同じく、政府や誰かが

▼おわりに

エネルギーという視点 主導するのではなく、自発性をもって歴史的に、つまり「アノニマス」な展開は望ましい。アートは、心情的な共感をつくる。

▼おわりに

エネルギーという視点 主導するのではなく、自発性をもって歴史的に、つまり「アノニマス」な展開は望ましい。アートは、心情的な共感をつくる。